

流山市赤十字 奉仕団だより

道平立立仕一性
人公中独奉単世
界

赤十字七原則

高齢者施設訪問活動

モデル地区として23年度から活動がスタートしました。

活動場所
特別養護老人ホームあざみ苑

活動内容

デイサービスやショートステイの利用者を対象に、話し相手、洗濯物をたたむ、おやつの介助、カラオケ、体操、歌を歌う、折り紙やカレンダー作りなどの工作の手伝い、ゲームへの参加など、施設の依頼に応じて団員のスキルで対応できることを行っています。

活動の感想

・カラオケを皆さんと一緒に歌いながら、昔話に花を咲かせ楽しいひと時を過ごしました。皆さん喜んでくださいました。
・入所者に若い時に得意だったことを尋ねるなど、積極的に話しかけると楽しく盛り上がりました。
・折り紙でブドウを作る作業は話し合いながらできるといって省していただきます。
・初めのころは戸惑いもありましたが、1年以上続ける中で大分慣れてきました。お話をしつかりできる方もおり、私自身が楽しんでます。

赤十字救急法フェスタにて

下藤 和枝

十月十八日、千葉県総合スポーツセンターで、救急法フェスタが開催されました。朝から小雨の降る一日でしたが、県内各地からの参加者一四〇〇人の熱気で溢れていました。午前中はコンテスト(救急法の技術とスピードを競いあうもの)があり、三角巾を使った包帯リレーと事故想定に基づいた手当の二種目でした。競技者まで声を届けようと、声援にも力が入り、我が奉仕団は賞には入れませんでした。皆さん、健闘されました。

午後にはレクリエーションで、団体競技のムカデ競争、ボール運び、満員電車でGOが行われました。これもまた大いに盛り上がり、笑いのうちに終了しました。最後に、今年亡くなられた鎌田委員長をしのび、「仲良しシャンシャンおどり」を踊りました。これから特に若い方々にも赤十字の活動に興味を持っていただけるように、お誘い、お呼びかけをしていきたいなあと感じた一日でした。



一日赤十字

三浦 ひろみ

二月六日、早朝より小雪が舞う寒い日でしたが、ほととプラザ下花輪で「一日赤十字」が開催されました。知人が参加していたので話を聞くと、「もともと参加したいと思っていたが機会がなかった。ある日、駅で脳溢血で倒れた男性に、たまたま居合わせた消防署の人が迅速・適切な処置を行い、その男性は後遺症もなく元気になった話を聞き、丁度、広報ながれやまに載っていた「一日赤十字」の講習会に応募した」ということでした。

講習会は、埋金指導員による「赤十字は民間の団体で財源は社費で賄われる」等、赤十字の基本についてわかりやすい話があり、二班に分かれ実技を行いました。埋金指導員は応用担架の実技で、一人で傷病者を運ぶやり方を学びました。また、二本の物干棒と毛布を使っての担架の作り方や五、六枚の着ている上着を物干棒に通して作る担架にはびっくりしました。参加者は役割を交代しながら運ぶ練習をしました。

加藤指導員は、心配蘇生法とAEDを用いた実技を行いました。指導員の指示に従いながら、周囲の確認と傷病者の観察→胸骨圧迫→人工呼吸→AEDの使用、と一般参加された方は一つ一つを確認しながら真剣に操作をしていました。

休憩時間には赤十字についての掲示を真剣にみて指導員に質問をされていました。私を含めこのような講習には機会あることに参加してほしいと思いましたが、着替えて必要ないチェックをして行動することが大切なことだと感じました。

残念ながら午後の三角巾使用法は、雪が心配なため中止になりました。



一日赤十字アンケート

自分のため、家族のため、地域のために救急法の基礎を学び、何かあったときに役立てたいと思いを加えました。様々な救護方法を学び、何かのときは地域のためにも活動したいと思えます。心配蘇生法やAEDのやり方、使い方を理解できました。スタッフの皆さんのフォローがありとうございました。赤十字の歴史も勉強できてよかったです。ぜひ、またこのような講座をやってください。(笠原 元)

子どもや家族、周囲の人に万が一のことがあったときにすぐ助けることができるようになりたいと思いを加えました。赤十字の方々が丁寧に指導くださったおかげでわかりやすかったです。実践を多くこなすことができたので、実際にそのような場面に遭遇しても、最初から最後までどのような手順でやればいいのかかわかりAEDを使う時も使用方法もわかりました。心臓マッサージは常に続けなくてはならないこともわかりました。グループで練習したことにより、他の方がやっているのを見て客観的にどう対処すればいいかわかりました。たくさんの方がこのような講習に参加して、救える命が救える世の中になってほしいと思いました。(村北 由里)

搬送の方法について、工夫次第で、一人でも人を運べるようになりました。毛布の担架は驚きでも参考にになりました。上着まで担架になるとは驚きです。心配蘇生法は分かったつもりでもいざとなると忘れていることに気づき、常に練習が必要だと思ひ知りました。初めて触れるAEDでしたが、使い方を忘れないようにしたいです。(小澤 亜紀子)

AEDは今までテレビ等で使い方をみたことがありましたが、実際に触って正しく使用方法を学ぶことができたことがありますが、以前交通事故の現場に立ち会ったことがあります。次回もし同じような急を要する状況に立ち会った際には今日の講習を踏まえて落ち着いて対応したいと思ひます。(匿名希望)

支部創立二二〇周年記念大会に参加して

萬田 淑江

支部創立二二〇周年記念千葉県赤十字大会が十一月八日千葉県文化会館ホールで行われ、流山からは奉仕団15名、事務局2名で参加しました。千葉県関係者でホールは満席の中、会場の照明が消され厳かに成田赤十字看護専門学生のキャンドルサービスで幕が上がりました。名誉副総裁常陸宮妃殿下がご臨席され開会と受賞された方々の氏名は割愛させていただきます。

贈呈式終了後、旭市地区奉仕団委員長から旭市の震災直後の被災された人々と支援交流の活動報告。青少年赤十字メンバー蘇我中学校生の医療リクテンと交換できるペットボトルキャップを集めた校内活動の体験発表が報告されました。今日まで支えてくださった博愛の精神を次世代に伝えていかなければと願ひ帰路につきました。

パパママのための救急法スクールに参加して

鬼原 成子

前日からの大雨が上がった七月八日、「パパ・ママのための救急法スクール」が開催されました。パパとママがわが子の万が一に備え、暑い中を出向いてこられる。それは「子育てするなら流山」を実感させられる姿でした。初めてお子さんを預けることはとても心配とみえ、ママの方が緊張されていたように思いましたが、三時間の講習を終えお迎えにこられた顔は頼もしく見えました。子どもも用AEDの使い方など実習に重きを置いたスクールは「参加してよかった」との声を聞くことができてうれしく思いました。

これからも多くのパパとママが受講され、子どもたちの安心・安全を保ち、家庭や子育ての場できっと活かしていただけることを願っております。



「パパママアンケート」

子どもの命を守らなければいけないという責任と知識があることで不安を解消したいという思いから参加しました。予想以上に充実した内容でした。AEDの使い方、AEDを使っても心肺蘇生法が必要であることなど勉強になりました。ただ、事故を起こさないことが大事ですね。(岩上 有美)

子どもに万が一のことがあった際に、自分ですべての対応を学ぶたてに参加しました。心肺蘇生法のやり方、AEDの使い方など実習中心で非常に分かりやすく学ぶことができました。このような講習は定期的に参加し、万が一の際に冷静に対応できるように準備したいと思います。(堀田 功二)

子ども二人が動くようになり、危険なことが多くなってきたと思ひなにかあったときに迅速に対応できるようにと思ひ参加しました。子どもの救急法でしたが、大人でも応用できる内容でよかったです。(桃野 崇弘)

本で読んだり、話を聞くだけよりずっとわかりやすく勉強になりました。実践やいろいろな話を聞いてよかったです。子どもを守るのは自分しかないということ、そして、まず事故を起こさないということとで生活を見直さないとけないと思ひました。(阿部 知子)

万が一のときに心肺蘇生や対処法の知識があれば助けてあげられると思ひたので参加しました。子育てをしていくうえで大変重要なことを学ばせて頂き、とても有意義な時間となりました。(鶴岡 佑)

ハイハイ、つかまり立ちが始まり、実際にヒヤッとすることが多くなったため、参加しました。初めてAEDをみることで、為になりました。同居している両親にも教わったことを伝えたいと思ひました。(小野口 亘)

視察研修旅行に参加して

西川 桂子

晴天に恵まれて六月二十八日泊二日の出発です。日本赤十字社長野県支部では資料を取り説明がありました。活動全体理解不足の私には「人間を救うのは人間だ。人として尊い生命を救わなければならない」との思いを抱きました。災害時の救護物資備蓄倉庫では安眠セット・救護セットを実際に手にして、各家庭でも備蓄できる包帯・バンソウコウ・軍手等々一つのバッグに納めておく心掛けの必要性を感じました。次に長野赤十字歴史資料館視察。赤十字の歴史を今に伝えるため赤十字思想の普及に使用された「赤十字幼燈」や活動写真・制服をはじめ伊藤博文侯の直筆など貴重な資料を展示一般公開されています。「日本の赤十字」と題してアンリ・デュナンらの活動提唱を原点日本の赤十字の歴史を脚本・絵すべてを奉仕団自ら手掛けて紙芝居・絵本が作成されています。わかりやすく描かれていました。私も孫たちに読み聞かせたいとお土産にしました。二日目は善光寺に参拝。入団もない私自身は、今回学んだ多くのことを足がかりに、身近な奉仕活動で一步一步みなさまに教わりながら活動していきたいと思ひました。どうぞよろしくお願ひいたします。

「赤十字のつどい」に参加して

野澤 恭子

平成二十四年十二月十五日千葉西部ブロックの「赤十字のつどい」が当番市の野田市で開催されました。千葉県赤十字地域奉仕団のうち、市川・野田・船橋・鎌ヶ谷・松戸・我孫子・浦安・柏・流山の九市が西部ブロックです。総務課の「アンリ・デュナンの思いと赤十字奉仕団」の講演の中で、災害は避けられないけれど、先見の明を持って準備をしておくことが赤十字に求められていることではないか、というお話もされました。東日本大震災直後の赤十字の活躍がDVDで紹介されました。分科会では、点字・救急法・健康生活支援があり、健康生活支援の研修を受けました。衣類の着脱の介助や、車いすの扱い方などいろいろ学びました。体に重しを掛け、視野もせまくして不自由な行動の疑似体験もできました。平成二十五年度の「赤十字のつどい」は流山市が当番市です。他市の赤十字奉仕団の方々と一緒に研修できることが楽しみです。

流山市民まつりに参加して

高橋 美枝子

お昼までは、なんとか雨が降らないで欲しいと願ひながら運動公園に行く会場には、たくさんの方々が張られ、それぞれの団体が忙しそくに準備を進めていました。私たちが奉仕団員は、炊き出し訓練と非常食の配布がまつりでの活動です。八時三十分には、炊き出し訓練開始。無洗米を使つての炊き出しです。少しでも食べやすいように、かつお節と醤油をお米に混ぜ合わせハイゼックスに入れ、水を入れました。ハイゼックスの空気抜きと輪ゴムで口を縛ることが非常食の味を左

右するそうです。作業をしながらとても緊張しました。非常食は、二回配布しましたが、大勢の方が並びすぎなくなりました。2回目の配布のころになると雨も降りだし、傘をさしている人も多くなりましたが、なんとかが無事終了しました。感想を聞くと「以外に美味しいのね」と言われほっとしました。会場内でたくさんの方々の笑顔に出会い、ちょっと幸せな気分が家に帰りました。

今年度の防災訓練は九月二日、市立向小金小学校において実施されることとなり、奉仕団の員として「いざ」に備え、少しでも役に立つことができると八十の坂を越えた私ですが、訓練に参加しました。当日は、天候が少し心配でしたが、九時五十分にはテントが張り巡らされた校庭に集合、消防署員をはじめ関係機関の方々の中に、私たち奉仕団員も一列に整列し市長の開会の挨拶が始まりました。同時に降り始めた雨が豪雨となり頭が痛くなるほどの雨に打たれながら、前列の全員微動だにせず、市長も壇上でお言葉を続けておられました。私はこれ程の緊張感にこれこそが防災訓練の基本だと実感いたしました。

平成二十四年度流山市総合防災訓練に参加して

黒田 律子

私たちは奉仕団の仕事は災害時の炊き出しの訓練と訓練参加自治会の皆様はじめ関係者の方々、五百名分の五日アルファ米を熱湯だけで炊き上げタイミングを計り、バックに詰めてお配りしました。今回は天候不順の中、校舎の軒下でずぶ濡れのまますべて予定どおり出来ましたことは、素晴らしい体験ができたと思ひ、団員一同ますますの活動を誓ひ合いました。



平成24年度 奉仕団活動報告

平成24年	平成25年	活動内容
5月8日	5月15日	献血奉仕活動(おたかの森出張所)
5月14日	5月25日	献血奉仕活動(おたかの森出張所)
5月29日	6月6日	献血奉仕活動(流山市役所)
6月1日	6月12日	献血奉仕活動(流山市役所)
6月6日	6月16日	献血奉仕活動(流山市役所)
6月14日	6月22日	献血奉仕活動(流山市役所)
6月28日	6月28日	献血奉仕活動(流山市役所)
7月7日	7月12日	献血奉仕活動(流山市役所)
7月8日	7月13日	献血奉仕活動(流山市役所)
8月9日	8月12日	献血奉仕活動(流山市役所)
8月23日	8月15日	献血奉仕活動(流山市役所)
9月22日	9月27日	献血奉仕活動(流山市役所)
9月27日	10月15日	献血奉仕活動(流山市役所)
10月18日	10月28日	献血奉仕活動(流山市役所)
11月11日	11月18日	献血奉仕活動(流山市役所)
11月18日	11月28日	献血奉仕活動(流山市役所)
12月15日	12月28日	献血奉仕活動(流山市役所)
12月28日	12月31日	献血奉仕活動(流山市役所)
1月14日	1月25日	献血奉仕活動(流山市役所)
1月24日	1月31日	献血奉仕活動(流山市役所)
2月2日	2月6日	献血奉仕活動(流山市役所)
2月12日	2月13日	献血奉仕活動(流山市役所)
2月13日	2月13日	献血奉仕活動(流山市役所)

※毎月第1、第3木曜日 献血奉仕活動(流山市役所) 計44名
 ※毎月第2、第4水曜日 高齢者支援事業(あざみ苑) 計41名